

21世紀金融行動原則 2019年度最優秀取組事例「環境大臣賞（地域部門）」受賞について

鹿児島相互信用金庫（本店：鹿児島市、理事長：永倉悦雄）は、持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則「通称：21世紀金融行動原則」において、地域に根ざした持続可能な社会形成を目指す金融機関の手本として評価され、2019年度最優秀取組事例「環境大臣賞（地域部門）」を受賞しましたのでお知らせ致します。



記

1. 21世紀金融行動原則とは

持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針です。署名金融機関は、自らの業務内容を踏まえ、可能な限り原則に基づく取組を実践します。

2011年に環境省が事務局となって制定されたもので、都市銀行、地方銀行、信用金庫、生損保会社など全国285機関が署名（2020年2月28日現在）しています。

PRESS RELEASE

2. 受賞について

(1) 受賞名

21世紀金融行動原則 2019年度最優秀取組事例「環境大臣賞（地域部門）」

(2) 受賞理由

① 受賞タイトル

「SDGs達成に向けた取組を通して実践する地域・お客さま・当金庫の共有価値の創造を目指す
そうしんCSV経営」

② 選定理由

- ・ 2018年10月信用金庫として全国で初めて「そうしんSDGs宣言」を発表し、トップを含めた組織全体でSDGsと関連させる形で地域課題の解決を価値創造につなげようとする強い姿勢が見てとれる。
- ・ その具体的な取組として「ぶり奨学ローン」など自治体と連携した「奨学ローン」の開発は、次世代そして社会全体へのインパクトと広がりを感じる。
- ・ 奨学ローン制度は、地域にUターンした人材が、将来地域課題の解決に貢献し、地域社会にインパクトを与えることにつながることを期待できる。
- ・ 竹SDGsプログラム「TAKE（竹、テイク）SDGs」は、足元にある自然環境をめぐる課題解決を本業と絡めている点が評価できる。
- ・ 以上から、地域資源に目を向けて地域を活性化しようとする組織的な取組事例が、全国の金融機関にも広がって欲しいという期待を込めて大臣賞に選定する。

3. 表彰式について

環境省にて小泉環境大臣より当金庫の永倉理事長が賞状を受け取りました。

- ・ 日時 2020年3月4日（水）13時30分～14時30分
- ・ 場所 環境省 5号館（東京都千代田区霞が関1-2-2）
- ・ 受賞者 鹿児島相互信用金庫

（ご参考）21世紀金融行動原則 環境大臣賞（最優良取組事例） 2019年度選定結果

URL：pfa21.jp/activity/bestaward/bestaward2019

以上

【本件に関するお問合せ先】

鹿児島相互信用金庫 営業戦略部 そうしん地域おこし研究所 担当：白石・本永
鹿児島市与次郎1丁目6番30号
TEL：099-259-5222 FAX：099-259-5227

PRESS RELEASE

受賞の様子



小泉環境大臣から
授与を受ける



賞状を掲げる弊社永倉理事
長（右）と小泉環境大臣

PRESS RELEASE



弊金庫の「竹SDGsプログラム」で製作された竹SDGsバッジに興味を示される小泉大臣



竹SDGsバッジをつけて懇談される小泉大臣